

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 7 年 5 月 8 日(2025.5.8)

【公開番号】特開 2023-154599(P2023-154599A)  
【公開日】令和 5 年 10 月 20 日(2023.10.20)  
【年通号数】公開公報(特許)2023-198  
【出願番号】特願 2022-64033(P2022-64033)  
【国際特許分類】

A 63 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 3 2 6 Z

A 63 F 7/02 3 3 3 A

A 63 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 7 年 4 月 25 日(2025.4.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技状態として、第 1 の遊技状態と、前記第 1 の遊技状態より遊技者に有利な第 2 の遊技状態と、前記第 1 の遊技状態より遊技者に有利な第 3 の遊技状態とを有しており、  
所定の判定契機の成立に基づいて特定判定を実行する手段と、  
前記特定判定が実行されることに基づいて遊技回用動作が開始され、前記特定判定の結果  
に対応した報知結果とされるようにして、遊技回が実行されるように制御する手段と、  
前記特定判定の結果が特定結果となることに基づいて前記第 2 の遊技状態への移行が実行  
されることを可能とする第 1 手段と、  
特定条件が成立した場合に前記第 3 の遊技状態への移行が実行されることを可能とする第  
2 手段と、  
を備え、

30

遊技における特定状態にて前記特定条件の成立が生じ得る構成となっており、  
前記第 2 の遊技状態にて前記特定条件の成立が生じない構成となっており、  
前記第 2 の遊技状態の終了より後に前記特定状態に移行し得る構成となっており、  
前記特定状態において前記特定条件が成立する場合と、前記特定状態において前記特定条  
件が成立しない場合とが生じ得る構成となっており、  
前記特定状態での所定の遊技回にて前記特定条件が成立の場合に、所定演出を実行した後  
に前記特定条件の成立に対応した第 1 報知を実行することが可能であり、  
前記特定状態での所定の遊技回にて前記特定条件が不成立の場合に、前記所定演出を実行  
した後に前記第 1 報知とは異なる第 2 報知を実行することが可能であり、  
前記第 3 の遊技状態であることを遊技者が認識できる特定報知が前記第 3 の遊技状態にて  
実行されることを可能とする手段を備え、  
所定の発射操作に基づいて遊技球を発射可能となっており、  
第 1 の発射操作により発射された遊技球が通過可能であり、前記第 1 の発射操作とは異なる  
第 2 の発射操作により発射された遊技球が通過しない第 1 領域と、前記第 2 の発射操作  
により発射された遊技球が通過可能であり、前記第 1 の発射操作により発射された遊技球  
が通過しない第 2 領域とが設けられており、

40

50

前記第 1 の遊技状態において前記第 1 の発射操作により遊技球を発射する遊技が推奨され、前記第 2 の遊技状態及び前記特定状態において前記第 2 の発射操作により遊技球を発射する遊技が推奨されるように構成されていることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

ここで、上記例示したような遊技機等においては遊技の興趣を高める上で未だ改善の余地がある。 10

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、上記例示した事情等に鑑みてなされたものであり、遊技の興趣を高めることが可能な遊技機を提供することを目的とするものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、  
遊技状態として、第 1 の遊技状態と、前記第 1 の遊技状態より遊技者に有利な第 2 の遊技状態と、前記第 1 の遊技状態より遊技者に有利な第 3 の遊技状態とを有しており、  
所定の判定契機の成立に基づいて特定判定を実行する手段と、  
前記特定判定が実行されることに基づいて遊技回用動作が開始され、前記特定判定の結果 30  
に対応した報知結果とされるようにして、遊技回が実行されるように制御する手段と、  
前記特定判定の結果が特定結果となることに基づいて前記第 2 の遊技状態への移行が実行されることを可能とする第 1 手段と、  
特定条件が成立した場合に前記第 3 の遊技状態への移行が実行されることを可能とする第 2 手段と、

を備え、

遊技における特定状態にて前記特定条件の成立が生じ得る構成となっており、

前記第 2 の遊技状態にて前記特定条件の成立が生じない構成となっており、

前記第 2 の遊技状態の終了より後に前記特定状態に移行し得る構成となっており、

前記特定状態において前記特定条件が成立する場合と、前記特定状態において前記特定条件が成立しない場合とが生じ得る構成となっており、 40

前記特定状態での所定の遊技回にて前記特定条件が成立の場合に、所定演出を実行した後に前記特定条件の成立に対応した第 1 報知を実行することが可能であり、

前記特定状態での所定の遊技回にて前記特定条件が不成立の場合に、前記所定演出を実行した後に前記第 1 報知とは異なる第 2 報知を実行することが可能であり、

前記第 3 の遊技状態であることを遊技者が認識できる特定報知が前記第 3 の遊技状態にて実行されることを可能とする手段を備え、

所定の発射操作に基づいて遊技球を発射可能となっており、

第 1 の発射操作により発射された遊技球が通過可能であり、前記第 1 の発射操作とは異なる第 2 の発射操作により発射された遊技球が通過しない第 1 領域と、前記第 2 の発射操作 50

により発射された遊技球が通過可能であり、前記第 1 の発射操作により発射された遊技球が通過しない第 2 領域とが設けられており、  
前記第 1 の遊技状態において前記第 1 の発射操作により遊技球を発射する遊技が推奨され、前記第 2 の遊技状態及び前記特定状態において前記第 2 の発射操作により遊技球を発射する遊技が推奨されるように構成されていることを特徴とする。

【 手 続 補 正 5 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 8

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

10

【 0 0 0 8 】

本発明によれば、遊技の興趣を高めることが可能となる。

20

30

40

50